



湾岸・アラビア半島地域ニュース

イラク：サウジの対イラク債権の削減

(4月19日付「サバーハ」紙)

1. サウジアラビアは、対イラク債権の80%を放棄することを決定した。サウジの対イラク債権は150億ドルとされ、その大部分がイラン・イラク戦争及び湾岸戦争(クウェイト侵攻後の補償金)当時のものであるが、債権額が両国間で合意されていないとの情報もある。
2. ジャブル財務大臣は、「サウジ側はイラクの利子の未払いにより対イラク債権が390億ドルに増加した旨通知してきている。サウジとの間では、元本への金利は停止することが合意されている。」旨を述べた。
3. 外国の対イラク公的債権については、パリ・クラブの枠組みでこれまでに52カ国が80 - 100%の削減を行ってきている。
ジャブル大臣は、以下の通り述べた。
 - (1) 中国が40億ドルの債務削減に同意した。
 - (2) クウェイト、カタル、UAEとは100億ドルの債務削減につき協議している。
 - (3) ロシアは、プーチン大統領が2003年に同国の対イラク債権65%の削減を公表したにも拘わらず、削減を拒否している。